

令和4年度 学校評価（後期） 結果分析

令和5年2月13日（月）
志木市立宗岡第四小学校

前期学校評価結果と学校の取り組み例①

①前期学校評価結果から、「よさ・強み」

児童アンケート	肯定率
1 : 学校は楽しい	93.84%
2 : 授業はわかりやすい	94.80%
3 : 自分は進んで学習に取り組んでいる	90.52%
9 : まわりの人の話をよく聞くことができる	93.18%
10 : まわりの人を大切にしたい言葉がけや行いができる	91.01%
12 : まわりの人のことを考えている	94.01%
13 : 先生に話を聞いてもらえている	94.51%
16 : まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができる	93.01%
19 : ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けている	95.51%
20 : まわりの人と楽しく遊んだり進んで運動したりしている	92.35%

②教職員アンケート結果分析① 良さ・成果

◇アンケート結果 A+Bの割合 ... 100%は3項目 90%以上は11項目

1 学校は、学校教育目標・短期目標達成に向けて、組織的に運営し、「笑顔 感動 いっぱい 虹色に輝く みんなの学校づくり」に取り組んでいる。	95.5%
2 学校は、学校教育目標・短期目標に基づき、学年・学級経営、教科経営及び校務分掌を機能させている。	100.0%
3 学校は、事故やトラブル等に対して未然に防ぐ働きをするとともに、迅速に対応している。	100.0%
4 学校は、環境美化に努めたり、整えたりしている。	90.9%
5 学校は、児童が主体的、対話的で深い学びにより資質能力を高められるよう授業を展開している。	95.5%
6 学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童の言語能力を高めている。	95.5%
7 学校は個に応じた指導の工夫などにより授業改善に努め、基礎的な学力を向上させている。	90.9%
8 学校は、問題解決的な学習や体験的な学習などにより、児童の学習への意欲を高めている。	95.5%
11 学校は、児童の発達に基づき、指導を工夫・改善し規律ある生活習慣等を身に付けさせるよう指導し、成果をあげている。	100.0%
12 学校は、児童がいじめや意地悪な行為等をする事なく、お互いの良さを認め合って学校生活を送れるよう取り組んでいる。	90.9%
13 学校は、児童が清掃等の仕事の仕方を理解し、黙々と最後まで取り組むよう指導し、成果をあげている。	90.9%
16 学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	90.9%
17 学校は、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	95.5%
18 学校は、学校応援団組織を充実させるとともに、保護者や地域と連携した教育活動を展開している。	95.5%

②前期学校評価から、「課題」

児童アンケートからの課題

教職員アンケート

11 自分のことが好きで大切に思っている。 80.37%	6 自分も他者も大切にしながら互いに関わり合い自尊感情を高め合おうとする子 81.0%
リンクしている	

15 目標やめあてをもって学校生活を送っている。86.86%（前年比・3%以上）	7 めあてを決め精一杯自分の役割を果たすことができる子 95.2%
ギャップがある	

教職員アンケートからの課題

児童アンケート

9 学校は、ICTを活用した授業実践を行い、特に学習用タブレット端末（iPad）を活用した授業の充実に努め、児童の学習への意欲を高めている。59.1%	6 学習用タブレットを使って学習している。 89.35%
内容の充実が必要	

10 学校は、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう礼儀等を指導し、成果をあげている。63.6%	12 まわりの人に自分からあいさつができている。 91.51%
4 礼儀正しく気持ちのよいあいさつや温かい言葉がけなどができる子66.7%	
ギャップがある	

12 たくましくしなやかな心と体をつくろうと、自らを鍛えたり、他者と協働しながら鍛えたりしようとする子71.4%	20 まわりの人と楽しく遊んだあ り進んで運動したりしている。 92.35%
ギャップがある	

前期学校評価結果と学校の取り組み例②

主に学力面

③学校での主な取組例

主に学力面以外

- ・国語科校内研修での、説明文を通した文章の構成や工夫についての学習を推進した。また、国語科の説明文で学んだ構成や論理を使い、生活科や総合的な学習の時間で活用し、自分の考えや思いを表現する力を育成
- ・文章の書き方、話し方の型の提示やハンドサイン・相互指名等を活用するなどの指導方法を工夫し、考える力や表現力を育成
- ・国語：物語教材で叙述に基づいた読み取りなどを友達と交流する活動の焦点化
- ・ペア活動・グループ活動の積極的に導入し、話し合う場を多く設定
- ・意見の共有でジャムポートやクラスルーム等タブレットの積極活用
- ・家庭学習の取り組みにおいて、高学年での自主学習実施と中学年での段階的導入
- ・算数：復習の時間の確保や興味を引く導入などの学年やクラスごとに実態に合わせた工夫
- ・学習での明確な目標・めあての設定と学習の振り返りを大事にする取り組みの強化

- ・係活動の充実：活躍の場や達成感を味わい、自己有用感を育成。
- ・読書月間の活用と毎週月曜日の全校読書 親子読書のすすめ
- ・些細なことでも褒め・認め・励ますなどを、各学年で積極的に行い、自己肯定感を高める取組を強化
- ・児童同士で褒め合う場面の意図的な設定。その場面を取り上げての称賛
- ・言葉遣いや挨拶についての継続的な指導・非認知能力の面からのアプローチ強化(数値化できない、「思いやり・やる気・折り合いをつける力・学級や学年の運営への参画」等を認め、紹介したり称賛したりするように職員一同努めている)
- ・たんぽぽタイムでのなわとび・ドッジボール・5分間走等の取り組み
- ・たてわり遊びの創意工夫、たんぽぽふれあい週間の取り組み
- ・児童会活動による積極的なあいさつ運動や安全な廊下歩行運動の取り組み
- ・生活目標や学級での話合い活動における目標やめあての意識化と振り返りを大事にした取り組み
- ・PTAとの連携、関わり合う機会を増やす取り組み
(2年生活科：まちたんけんでの引率協力や、5年総合的な学習の時間：環境学習フィールドワーク活動の引率協力など)

令和4年度 学校評価（後期）12月末 実施

- ▶ 児童アンケート 1～20
- ▶ 教職員アンケート 1～18 学校教育短期目標と3つの資質・能力 1～12
- ▶ 保護者アンケート 1～25



- 児童アンケートと 教職員アンケートとの関連・・・よさと課題
- 来年度への取組の重点、手立ての方向性

4月～12月の取組状況・評価内容をもとに、
来年度の**取組・実践の工夫・改善を図る**

①児童アンケート結果...全項目で平均 80 %以上の肯定率(課題部分黄色マス)

児童アンケート	肯定率	前期	前期比	前年度
1 : 学校は楽しい	92.3%	93.8%	-1.5%	92.0%
2 : 授業はわかりやすい	95.2%	94.8%	0.4%	93.0%
3 : 自分は進んで学習に取り組んでいる	89.3%	90.5%	-1.2%	86.7%
4 : 学習用タブレットを使って学習している	87.5%	89.4%	-1.9%	85.9%
5 : 自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる	85.9%	84.9%	1.0%	81.5%
6 : これまで学んだことを次の学習に生かしている。	88.9%	87.9%	1.1%	86.4%
7 : まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている。	90.7%	87.0%	3.7%	83.4%
8 : まわりの人に自分からあいさつができています。	89.4%	91.5%	-2.1%	91.6%
9 : まわりの人の話をよく聞くことができる	92.7%	93.2%	-0.5%	89.4%
10 : まわりの人を大切にしたい言葉がけや行いができる	91.6%	91.0%	0.6%	89.6%
11 : 自分のことが好きで大切に思っている	80.1%	80.4%	-0.2%	75.3%
12 : まわりの人のことを考えている	95.0%	94.0%	1.0%	93.7%
13 : 先生に話を聞いてもらえている	93.0%	94.5%	-1.5%	94.1%
14 : 先生はいけないことはいけないと言ってくれる	95.7%	95.8%	-0.1%	97.2%
15 : 目標やめあてをもって学校生活を送っている	89.4%	86.9%	2.6%	90.0%
16 : まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができる	93.9%	93.0%	0.9%	92.9%
17 : まわりの人のためになるような仕事をしている	91.4%	89.7%	1.7%	90.5%
18 : 給食をしっかりと食べ元気に生活している	93.7%	94.0%	-0.3%	94.7%
19 : ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けている	95.0%	95.5%	-0.5%	95.0%
20 : まわりの人と楽しく遊んだり進んで運動したりしている	92.3%	92.3%	0.0%	91.9%

前期
課題
項目

①児童アンケート結果...良さ・成果

90%以上で、前期より上がっている項目

児童アンケート	肯定率	前期	前期比	前年度
1：学校は楽しい	92.3%	93.8%	-1.5%	92.0%
2：授業はわかりやすい	95.2%	94.8%	0.4%	93.0%
3：自分は進んで学習に取り組んでいる	89.3%	90.5%	-1.2%	86.7%
4：学習用タブレットを使って学習している	87.5%	89.4%	-1.9%	85.9%
5：自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる	85.9%	84.9%	1.0%	81.5%
6：これまで学んだことを次の学習に生かしている。	88.9%	87.9%	1.1%	86.4%
7：まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている。	90.7%	87.0%	3.7%	83.4%
8：まわりの人に自分からあいさつができています。	89.4%	91.5%	-2.1%	91.6%
9：まわりの人の話をよく聞くことができる	92.7%	93.2%	-0.5%	89.4%
10：まわりの人を大切にされた言葉がけや行いができる	91.6%	91.0%	0.6%	89.6%
11：自分のことが好きで大切に思っている	80.1%	80.4%	-0.2%	75.3%
12：まわりの人のことを考えている	95.0%	94.0%	1.0%	93.7%
13：先生に話を聞いてもらえている	93.0%	94.5%	-1.5%	94.1%
14：先生はいけないことはいけないと言ってくれる	95.7%	95.8%	-0.1%	97.2%
15：目標やめあてをもって学校生活を送っている	89.4%	86.9%	2.6%	90.0%
16：まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができる	93.9%	93.0%	0.9%	92.9%
17：まわりの人のためになるような仕事をしている	91.4%	89.7%	1.7%	90.5%
18：給食をしっかりと食べ元気に生活している	93.7%	94.0%	-0.3%	94.7%
19：ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けている	95.0%	95.5%	-0.5%	95.0%
20：まわりの人と楽しく遊んだり進んで運動したりしている	92.3%	92.3%	0.0%	91.9%

児童アンケート	肯定率	前期	前期比	前年度
1 : 学校は楽しい	92.3%	93.8%	-1.5%	92.0%
2 : 授業はわかりやすい	95.2%	94.8%	0.4%	93.0%
3 : 自分は進んで学習に取り組んでいる	89.3%	90.5%	-1.2%	86.7%
4 : 学習用タブレットを使って学習している	87.5%	89.4%	-1.9%	85.9%
5 : 自分の考えや思いを言葉や文字にして表すことができる	85.9%	84.9%	1.0%	81.5%
6 : これまで学んだことを次の学習に生かしている。	88.9%	87.9%	1.1%	86.4%
7 : まわりの人と相談や話し合いなどしながら自分から学ぼうとしている。	90.7%	87.0%	3.7%	83.4%
8 : まわりの人に自分からあいさつができています。	89.4%	91.5%	-2.1%	91.6%
9 : まわりの人の話をよく聞くことができる	92.7%	93.2%	-0.5%	89.4%
10 : まわりの人を大切にされた言葉がけや行いができる	91.6%	91.0%	0.6%	89.6%
11 : 自分のことが好きで大切に思っている	80.1%	80.4%	-0.2%	75.3%
12 : まわりの人のことを考えている	95.0%	94.0%	1.0%	93.7%
13 : 先生に話を聞いてもらえている	93.0%	94.5%	-1.5%	94.1%
14 : 先生はいけないことはいけないと言ってくれる	95.7%	95.8%	-0.1%	97.2%
15 : 目標やめあてをもって学校生活を送っている	89.4%	86.9%	2.6%	90.0%
16 : まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができる	93.9%	93.0%	0.9%	92.9%
17 : まわりの人のためになるような仕事をしている	91.4%	89.7%	1.7%	90.5%
18 : 給食をしっかり食べ元気に生活している	93.7%	94.0%	-0.3%	94.7%
19 : ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けている	95.0%	95.5%	-0.5%	95.0%
20 : まわりの人と楽しく遊んだり進んで運動したりしている	92.3%	92.3%	0.0%	91.9%

前期に引き続き、学校での学習や生活をするうえで基盤となる重要項目で高い数値を保っている項目が多い。

これまでの短期目標を意識した教育活動の取組の成果が継続して出ている。

①児童アンケート結果分析

11 自分のことが好きで大切に思っている。

80.4→80.1 昨年度比では伸びたが、前期比で伸びがない

自尊心 自己効力感 自己肯定感

8 まわりの人に自分からあいさつができています。

91.5→89.4 昨年度後期91.6から、徐々に下がってきている

最も基本的で大切なことなので、基本に立ち返った指導を再確認し、全体で共有していきたい。

学びに向かう力、人間性等

②保護者アンケート結果分析

	1：お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	2：お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	3：お子さんは、進んで学習に取り組んでいると感じる。	4：お子さんは、学習用タブレットを使った学習をしていると言っている。	5：お子さんは、自分の考えや思いを言葉や文字に表すことができると感じる。	6：お子さんは、これまでの学んだことを次の学習に生かしていると感じる。	7：お子さんは、まわりの人と相談や話し合うなどして自分から学ぼうとしていると感じる。	8：お子さんは、まわりの人からあいつができてきていると感じる。	9：お子さんは、まわりの人の話をよく聞くことができると感じる。	10：お子さんは、まわりの人を大切にした言葉がけや行いができると感じる。	11：お子さんは、自分のことが好きで大切に思っていると感じる。	12：お子さんは、まわりの人のことを考えていると感じる。	13：学校は、お子さんの話を聞いていると感じる。	14：学校は、お子さんにいけないと言っていると感じる。	15：お子さんは、目標やめあてをもって学校生活を送っていると感じる。	16：お子さんは、まわりの人と協力しながら生活や学習をすることができると感じる。	17：お子さんは、まわりの人のためになるような仕事をしていると感じる。	18：お子さんは、給食をしっかり食べ元気に生活していると感じる。	19：お子さんは、ルールやマナーを守って登下校するなど安全に気を付けていると感じる。	20：お子さんは、まわりの人と楽しく遊んだり運動したりしていると感じる。	21：お子さんは、自ら家庭学習をしている。	22：お子さんは、進んで読書をしている。	23：お子さんは、家族の一員として家の仕事をしている。	24：お子さんは、しっかり早起きをして朝ごはんを食べている。	25：お子さんは、ゲームやインターネット、携帯電話など、お家でのルールを守って生活している。	26：学校は、教育活動の様子が分かるよう情報提供している。	27：学校は、家庭からの相談などに対応している。	28：学校は、家庭や地域と連携し、学校応援団などの活用を図りながら、教育活動の充実に努めている。	29：家庭では、子供たちに基礎的・基本的な生活習慣を身に付けさせている。	30：家庭では、まわりが育つという協働意識をもち、子供たちのよりよい成長のため学校と連携、協力している。
そう思う	70.4%	51.3%	39.7%	64.0%	34.9%	43.4%	37.0%	32.3%	40.2%	47.6%	59.3%	51.3%	45.5%	62.4%	30.7%	57.7%	40.7%	74.6%	65.1%	66.7%	34.4%	30.2%	30.7%	57.1%	42.3%	43.9%	51.9%	48.1%	59.8%	33.9%
少し思う	20.1%	38.6%	42.9%	24.9%	43.4%	46.6%	43.9%	42.9%	43.9%	45.5%	32.8%	40.2%	37.6%	32.3%	47.1%	36.0%	45.0%	21.7%	28.0%	23.3%	38.1%	25.4%	43.4%	29.1%	38.6%	44.4%	39.7%	39.7%	38.1%	56.6%
あまり思わない	9.5%	9.5%	15.3%	9.0%	20.1%	8.5%	16.4%	22.2%	12.7%	6.3%	7.4%	6.3%	15.3%	4.2%	19.0%	5.3%	12.7%	3.2%	5.8%	9.0%	22.8%	30.7%	22.8%	12.7%	16.4%	11.1%	7.4%	11.6%	2.1%	7.9%
全く思わない	0.0%	0.5%	2.1%	2.1%	1.6%	1.6%	2.6%	2.6%	3.2%	0.5%	0.5%	2.1%	1.6%	1.1%	3.2%	1.1%	1.6%	0.5%	1.1%	1.1%	4.8%	13.8%	3.2%	1.1%	2.6%	0.5%	1.1%	0.5%	0.0%	1.6%
肯定率	90.5%	89.9%	82.5%	88.9%	78.3%	89.9%	81.0%	75.1%	84.1%	93.1%	92.1%	91.5%	83.1%	94.7%	77.8%	93.7%	85.7%	96.3%	93.1%	89.9%	72.5%	55.6%	74.1%	86.2%	81.0%	88.4%	91.5%	87.8%	77.9%	80.5%
前期	91.5%	90.1%	80.7%	86.3%	69.8%	87.3%	77.4%	76.4%	83.0%	94.8%	95.8%	95.3%	91.0%	97.6%	79.2%	95.8%	87.7%	92.9%	97.6%	91.5%	78.8%	52.8%	72.6%	89.2%	84.9%	86.3%	90.6%	91.0%	78.7%	84.3%
前期比	-1.0%	-0.1%	1.9%	2.6%	8.5%	2.7%	3.6%	-1.3%	1.1%	-1.7%	-3.7%	-3.7%	-8.0%	-2.9%	-1.5%	-2.1%	-2.0%	3.4%	-4.5%	-1.6%	-6.3%	2.7%	1.4%	-2.9%	-4.0%	2.0%	1.0%	-3.2%	-0.7%	-3.9%

成果として出ているのは 特に 5, 7

課題となったのは 特に 13, 15, 21, 22

③教職員自己評価A 結果分析：良さ・成果

◇アンケート結果 A+Bの割合 ... 100%は5項目 90%以上は9項目

評価項目	No.	評価項目	A+B	前期	前期比
組織運営	1	学校は、学校教育目標・短期目標達成に向けて、組織的に運営し、「笑顔 感動 いっぱい 虹色に輝く みんなの学校づくり」に取り組んでいる。	88.5%	95.5%	-7.0%
	2	学校は、学校教育目標・短期目標に基づき、学年・学級経営、教科経営及び校務分掌を機能させている。	92.3%	100.0%	-7.7%
	3	学校は、事故やトラブル等に対して未然に防ぐ備えをするとともに、迅速に対応している。	96.2%	100.0%	-3.8%
	4	学校は、環境美化に努めたり、整えたりしている。	80.8%	90.9%	-10.1%
学力の向上	5	学校は、児童が主体的、対話的で深い学びにより資質能力を高められるよう授業を展開している。	100.0%	95.5%	4.5%
	6	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童の言語能力を高めている。	100.0%	95.5%	4.5%
	7	学校は個に応じた指導の工夫などにより授業改善に努め、基礎的な学力を向上させている。	96.2%	90.9%	5.2%
	8	学校は、問題解決的な学習や体験的な学習などにより、児童の学習への意欲を高めている。	100.0%	95.5%	4.5%
豊かな心の育成	9	学校は、ICTを活用した授業実践を行い、特に学習用タブレット端末(iPad)を活用した授業の充実にも努め、児童の学習への意欲を高めている。	76.9%	59.1%	17.8%
	10	学校は、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう礼儀等を指導し、成果をあげている。	57.7%	63.6%	-5.9%
	11	学校は、児童の実態に基づき、指導を工夫・改善し規律ある生活習慣等を身に付けさせるよう指導し、成果をあげている。	100.0%	100.0%	0.0%
	12	学校は、児童がいじめや意地悪な行為等をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるように取り組んでいる。	100.0%	90.9%	9.1%
体力の向上	13	学校は、児童が清掃等の仕事の仕方を理解し、黙々と最後まで取り組むよう指導し、成果をあげている。	96.2%	90.9%	5.2%
	14	学校は、児童が体力向上に向け、体育授業や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	96.2%	86.4%	9.8%
	15	学校は、計画的に健康教育(安全教育・食育を含む)を推進している。	92.3%	86.4%	5.9%
保護者・地域との連携協力	16	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	92.3%	90.9%	1.4%
	17	学校は、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	96.2%	95.5%	0.7%
	18	学校は、学校応援団組織を充実させるとともに、保護者や地域と連携した教育活動を展開している。	96.2%	95.5%	0.7%

十分満足できる項目が14項目となった。今後もさらなる工夫改善をしていきたい。

③教職員自己評価A 結果分析：課題

◇アンケート結果 A+Bの割合 ... №4が-10%、80%以下は2項目

評価項目	No.	評価項目	A+B	前期	前期比
組織運営	1	学校は、学校教育目標・短期目標達成に向けて、組織的に運営し、「笑顔 感動 いっぱい 虹色に輝く みんなの学校づくり」に取り組んでいる。	88.5%	95.5%	-7.0%
	2	学校は、学校教育目標・短期目標に基づき、学年・学級経営、教科経営及び校務分掌を機能させている。	92.3%	100.0%	-7.7%
	3	学校は、事故やトラブル等に対して未然に防ぐ備えをするとともに、迅速に対応している。	96.2%	100.0%	-3.8%
	4	学校は、環境美化に努めたり、整えたりしている。	80.8%	90.9%	-10.1%
学力の向上	5	学校は、児童が主体的、対話的で深い学びにより資質能力を高められるよう授業を展開している。	100.0%	95.5%	4.5%
	6	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童の言語能力を高めている。	100.0%	95.5%	4.5%
	7	学校は個に応じた指導の工夫などにより授業改善に努め、基礎的な学力を向上させている。	96.2%	90.9%	5.2%
	8	学校は、問題解決的な学習や体験的な学習などにより、児童の学習への意欲を高めている。	100.0%	95.5%	4.5%
	9	学校は、ICTを活用した授業実践を行い、特に学習用タブレット端末(iPad)を活用した授業の充実に努め、児童の学習への意欲を高めている。	76.9%	59.1%	17.8%
豊かな心の育成	10	学校は、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう礼儀等を指導し、成果をあげている。	57.7%	63.6%	-5.9%
	11	学校は、児童の実態に基づき、指導を工夫・改善し規律ある生活習慣等を身に付けさせるよう指導し、成果をあげている。	100.0%	100.0%	0.0%
	12	学校は、児童がいじめや意地悪な行為等をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるように取り組んでいる。	100.0%	90.9%	9.1%
	13	学校は、児童が清掃等の仕事の仕方を理解し、黙々と最後まで取り組むよう指導し、成果をあげている。	96.2%	90.9%	5.2%
体力の向上	14	学校は、児童が体力向上に向け、体育授業や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	96.2%	86.4%	9.8%
	15	学校は、計画的に健康教育(安全教育・食育を含む)を推進している。	92.3%	86.4%	5.9%
保護者・地域との連携協力	16	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	92.3%	90.9%	1.4%
	17	学校は、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	96.2%	95.5%	0.7%
	18	学校は、学校応援団組織を充実させるとともに、保護者や地域と連携した教育活動を展開している。	96.2%	95.5%	0.7%

№9は80%以下ではあるが大きく改善傾向が見られる。№4環境美化、№10あいさつに課題が残っている。

③教職員自己評価B 結果分析：良さ・成果

◇ 3つの資質・能力の観点から見たアンケート結果

1～12 A+Bの割合 ... 90%以上は7項目(前期6項目)

	考える子ども	思いやりのある子ども	はたらく子ども	じょうぶな子ども
知識及び技能	1 学習や生活の場面で活用できる基礎的・基本的な知識・技能を進んで学ぶことができる子 100%→96.2%	4 礼儀正しく気持ちのよいあいさつや温かい言葉がけなどができる子 66.7%→65.4%	7 めあてを決め精一杯自分の役割を果たすことができる子 95.2%→96.2%	10 規則正しい生活ができたり基礎体力を身につけたりすることができる子 85.7%→88.5%
思考力、判断力、表現力等	2 自分の考えを豊かに表現したり、学んだことを応用し、よりよく課題を解決することや、新しい課題に取り組んだりすることができる子 100%→96.2%	5 多様な考えを認め合ったり、他者と協力し合ったりしながらよりよい言葉がけや行動することができる子 85.7%→96.2%	8 自ら何をなすべきか進んで考え行動したり、他者と互いに協力し合ったりしながらよりよくはたらくことができる子 100%→88.5%	11 健康や安全についてよりよく考え適切に判断して行動することができる子 95.2%→84.6%
学びに向かう力、人間性等	3 疑問を感じて自ら意欲的に学んだり、他者の助けを得ることや、協働したりしながら粘り強く学ぼうとする子 85.7%→92.3%	6 自分も他者も大切にしながら互いに関わり合い自尊感情を高め合おうとする子 81.0%→96.2%	9 自分のやるべきことに粘り強く取り組んだり、他者のために役立とうとしたりする子 95.2%→100%	12 たくましくしなやかな心と体をつくろうと、自らを鍛えたり、他者と協働しながら鍛えたりしようとする子 71.4%→88.5%

前期に引き続き、学校経営方針で考える力・思考力重視をうたっている成果が出ている

90%には届かなかったが、非常に伸びた

③教職員自己評価B 結果分析：課題

◇ 3つの資質・能力の観点から見たアンケート結果

1～12 A+Bの割合 ... 課題と見られるのは3項目(特に4)

	考える子ども	思いやりのある子ども	はたらく子ども	じょうぶな子ども
知識及び技能	1 学習や生活の場面で活用できる基礎的・基本的な知識・技能を進んで学ぶことができる子 100%→96.2%	4 礼儀正しく気持ちのよいあいさつや温かい言葉かけなどができる子 66.7%→65.4%	7 めあてを決め精一杯自分の役割を果たすことができる子 95.2%→96.2%	10 規則正しい生活ができたり基礎体力を身につけたりすることができる子 85.7%→88.5%
思考力、判断力、表現力等	2 自分の考えを豊かに表現したり、学んだことを応用し、よりよく課題を解決することや、新しい課題に取り組んだりすることができる子 100%→96.2%	5 多様な考えを認め合ったり、他者と協力し合ったりしながらよりよい言葉かけや行動することができる子 85.7%→96.2%	8 自ら何をなすべきか進んで考え行動したり、他者と互いに協力し合ったりしながらよりよくはたらくことができる子 100%→88.5%	11 健康や安全についてよりよく考え適切に判断して行動することができる子 95.2%→84.6%
学びに向かう力、人間性等	3 疑問を感じて自ら意欲的に学んだり、他者の助けを得ることや、協働したりしながら粘り強く学ぼうとする子 85.7%→92.3%	6 自分も他者も大切にしながら互いに関わり合い自尊感情を高め合おうとする子 81.0%→96.2%	9 自分のやるべきことに粘り強く取り組んだり、他者のために役立とうとしたりする子 95.2%→100%	12 たくましくしなやかな心と体をつくろうと、自らを鍛えたり、他者と協働しながら鍛えたりしようとする子 71.4%→88.5%

成果

キーワード

○分かりやすい授業の実現に向けた取組の継続

○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

○言語能力を高める指導 ○言語活動の充実

○考えや思いを言葉や文字にする

○ICTの効果的な活用 ○タブレット端末を活用した授業

○温かい言葉かけ

○友達と協力する ○他者と協働して学ぼうとする

○自尊感情 ○自己効力感 ○自己肯定感 ○自分のよさや可能性
○友達のよさ ○協働的な学び

○授業改善・実践

○楽しい学校

④児童・保護者・教職員アンケートの比較・関連：課題

児童アンケートから

8	まわりの人に自分からあいさつができています。	89.4%
11	自分のことが好きで大切に思っている	80.1%

保護者アンケートから

13	学校は、お子さんの話を聞いていると感じる。	83.1%
15	お子さんは、目標やめあてをもって学校生活を送っていると感じる。	77.8%
21	お子さんは、自ら家庭学習をしている。	72.5%
22	お子さんは、進んで読書をしている。	55.6%

教職員自己評価から

A4	学校は、環境美化に努めたり、整えたりしている。	80.8%
A10	学校は、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう礼儀等を指導し、成果をあげている。	57.7%
B4	礼儀正しく気持ちのよいあいさつや温かい言葉かけなどができる子	65.4%

①

②

③

④

課題

①

②

③

④

キーワード

- よりよい人間関係の形成
- 自尊感情・自己効力感・自己肯定感
- 協働的な学び
- 受容的土壌の醸成

- 目標設定
- 自己決定

- 家庭学習
- 読書

- 環境整備・美化

考えられる取組等

校長のリーダーシップの下、
各分掌・全教職員で考え、
重点化した教育活動を
PDCAサイクルで実践

令和4年度

令和5年度へ